

## 令和6年度地区懇談会（登別地区） 議事録（概要）

令和6年9月30日（月）18:00～19:30

観光交流センターヌプル 出席者24名

### 4. 市からの情報提供：道道登別停車場線の無電柱化・改築事業について

#### 質問：登別東町一町会

- ・ 北海道の事業ではあるが、交通量の有無については市で把握しているのか。

#### 回答：都市整備部

- ・ 交通量調査に関しては、北海道で当該路線の交通量調査をしており、交通量に合わせて、道路構造上問題ないかどうかということを検討している。さらに、北海道公安委員会で交通規制に関して協議を進めている。
- ・ 片側二車線を一車線にしても大丈夫であろうという形で進めている。

#### 質問：登別東町一町会

- ・ 交通調査をしているということだが、いつ頃どのような形でしたのか。
- ・ 北海道公安委員会とのすり合わせはどこまでされていて、この話が進んでいるのか。
- ・ 市で交通量の実態調査をやり直すという考え方はないか。

#### 回答：都市整備部

- ・ 事業が北海道のため、今の段階では市が調査するという計画はない。
- ・ 無電柱化事業に関しましては、令和3年度に改定した登別市都市計画マスタープランで定めていて、道路上の無電柱化を進めたいという形で謳っている。
- ・ 市の進め方としては、令和4年度に策定した『登別駅周辺地区バリアフリー基本計画』における当該路線の位置づけ等に基づいて、事業の方向性を検討している。令和3年度に改訂して、バリアフリー及び無電柱化を組み込ませていただいた。
- ・ 今後、都市計画の変更について目途が立てば、また改めて説明会などを進めていき、ご意見をいただきたいと考えている。

#### 意見：登別東町一町会

- ・ ヌプルの駐車場に都市間バスが入っているが、反対車線をはみ出して左折しているが、道路交通法でいうならば違反行為である。
- ・ バリアフリー協議会と話し合っ、ふさわしい道路をつくることになると思いますが、再考する考え方を持っていた方がいいのではないかと。

#### 質問：登別本町会

- ・ 歩道の拡幅について、市から要望が出されたことによる北海道の事業なのか。

- ・ 賑わいの創出について、今の駅前商店街の方々にそういった活力やエネルギーがあるのか正直疑問に思っている。

**回答：市長**

- ・ 都市整備部のほうでできるだけより良い道路の利用を検討してきたのは間違いない。今回4年間の任期をいただいたので、私自身が責任を持って実行していきたいと思う。今後月に一度で構わないので、情報共有するということで理解いただければと思う。

**質問：登別本町2町会**

- ・ 無電柱化すると街路樹はそのままなのか、また街路灯はどうなるのか。

**回答：都市整備部**

- ・ 無電柱化については、電気の電線、電話等の通信線が無電柱化になり、街灯についてはそのままになる。街路樹は車道側に整備する予定だが、今後皆さんと検討したい。

**質問：登別本町2町会**

- ・ 毎年整備するとしたら50万円以上かかると思い心配した。
- ・ 商店街がだんだん減ってきた中で、「ほこみち」は、商店街が行うのか、あるいは公募して行うのか、その時に冬はどうなのか、いつどういうふうオープンして、いつ片付けをするのか。

**回答：市長**

- ・ 北海道が整備を終えた後、観光経済部が中心になり決定する。

**5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項：**

**(1) 登別橋の歩道拡幅について**

**概要説明：登別本町会**

- ・ 通学路である登別橋の北側には歩道が設けられているが、幅が1.3mしかなく登下校時に車との接触が懸念される。南側には幅3mの単独の歩道橋があるが、ほとんどの子供は使用していない。北側歩道部の拡幅はあるいは、ガードパイプ等の安全柵の設置をお願いしたい。

**回答：都市整備部**

- ・ 拡幅してしまうと車道の幅員がかなり狭くなり、車道の確保ができない。安全面の対策としてガードパイプを現在設置した場合、1.3mの幅であれば、有効な幅が約80cmから90cm程度しか取れなくなってしまう、今よりも歩きづらくなる部分や冬場の除雪に支障が出ることも考えられる。よって、現段階でハード面の対策は難しいため、ソフト面での対応を考えている。児童には登校時や工事の際に注意を促す交通安全の指導が行わ

れていると伺っている。

**回答：市長**

- ・ 例えばポールを用意して、お互い注意喚起をするという実証実験も考えられる。

**意見：登別本町2町会**

- ・ 新生が入るとすぐにみんなが行動しますが、北側と南側のどちらを通るかという  
と、北側を通ることが多い。向こう（南側）の方が多くはないかという考え方が間  
違っていると思う。

**回答：市長**

- ・ 過去のことは分からないのですが、学校側と市の方で話し合っているはずである。

**質問：登別本町2町会**

- ・ 本町2町会側は花壇の縁を歩いているため、花壇はあまり必要ないのではないかと思  
う。つり橋のようにして広くできないのか。

**回答：市長**

- ・ 構造的には可能ですが、今、市の橋を全部点検しており、登別橋が一番古い橋で、本  
来は根本的にもう変えなければならない時期かもしれないが、情報がないので今は何も  
できない。まず1つはソフト展開で、学校側の安全活動、トラックで通る企業に注意喚  
起を行う。

**意見：登別東町2町会**

- ・ 障がい者にとっては北側を通るのは難しく、極力南側の方を通るようにしており、電  
動車いすではなんとか上がっていくが、危険を感じる。バリアフリーについてしっかり  
考えていただきたい。

**回答：市長**

- ・ 教育委員会とも協議しなければならないため、いったん持ち帰らせていただく。

**意見：登別本町会**

- ・ 小学校の校長先生や先生方が交通指導している際も心配そうに見ている。

**回答：教育部**

- ・ 毎年通学路の安全推進協議会を教育委員会と学校、道路管理者などで構成し、協議を  
行っているが先ほど都市整備部の方からもあったように、今はハード面では厳しい状況  
である。先ほど発言があったとおり、校長先生が毎日注意をして見守っているというの

が現状である。

- ・ 南側の歩道についてですが、実際に通ってくるお子さんはやはり山側、つまり北側にお住まいのお子さんが多いです。横断歩道はありますが、信号機が付いていないため、朝は大型車が通っているのを確認している。学校としては、北側のお子さんが橋の前の横断歩道を渡り、さらに学校の十字路のところの横断を行うという、2回道路を横断させるのはお子さんにとって危険が伴うのではないかと考えている。
- ・ ハード面の設備が今難しいということで、学校でのソフト展開に移行することになりますが、その際に横断歩道を2回渡らせるよりは、1列または2人で並ぶ形で、特に歩道に飛び出さないように児童への安全指導を徹底しているというのが、学校での取り組みの現状と伺っている。

#### 意見：登別本町2町会

- ・ 子供は1人で帰ることがあまりなく、みんなグループで帰るし、子どもに「向こうに渡れ」と指導しても、「そんなめんどくさいことできない」と言う。

#### 回答：市長

- ・ 花壇については、検討させていただきます。

#### 意見：新登別町内会

- ・ 小学校のスクールゾーンについて、通学時間帯だけスクールゾーンとして、大型トラックが侵入できないよう考えてもらえればいいと思う。回答は知らない。

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

#### (2) 各道路の整備について

#### 概要説明：登別東町第三町会

- ・ 登別地区全般にわたることですが、生活道路の傷みが激しく、各所に欠損部がみられる。冬季の凍結からくる「ポットホール（穴ぼこ）」が原因と思われる、その都度担当者が対応してくれているようですが、毎年同じような状況を繰り返している。今後の道路整備の計画を伺いたい。

#### 回答：都市整備部

- ・ 市民からの支援や情報提供、またそのパトロールにおいて、都度、限られた予算の中で適切な措置をしている。新たに道路を作るという計画は今のところない。既存の悪い道路に関しては、ある程度の面積や規模があるため、道路改良や大きな補修で対応することを今のところ考えている。
- ・ 市全体として、道路の損傷状況や交通量、地域の要望など、さまざまな地域のバランスを考えながら優先度を決め、順次整理を進めている状況である。